



大阪市からのお知らせ

# 新型コロナウイルス感染症について 正しく理解し、不当な差別や偏見をなくしましょう。

新型コロナウイルス感染症に関連して、医療従事者や配送業務に従事する方など懸命に社会生活を支えている方々及び感染された方や、その周囲にいる人々に対して、自らが感染するのではないかと不安な気持ち等により、誤解や偏見に基づく差別を行うことは許されません。

思いやり、支えあいの気持ちや感謝の気持ちをもって、正確な情報をもとに冷静な行動に努めてください。

また、SNS等での投稿や書き込みなど、誰もが情報を発信できるようになっていますが、誤った情報や根拠

のないうわさ等の不確かな情報の拡散を行わないようにするとともに、そのような情報に惑わされることなく冷静に行動しましょう。



ご存じですか? シトラスリボンプロジェクト



Citrus  
Ribbon  
PROJECT

シトラスリボンプロジェクトは、コロナ禍で生まれた差別、偏見を耳にした愛媛の有志が作ったプロジェクトです。愛媛特産の柑橘にちなみ、シトラス色のリボンや専用ロゴを身につけて、「ただいま」「おかえり」の気持ちを表す活動を広めています。リボンやロゴで表現する3つの輪は、地域と家庭と職場(もしくは学校)です。

「ただいま」「おかえり」と言いあえる“まち”なら、安心して検査を受けることができ、ひいては感染拡大を防ぐことにつながります。また、感染者への差別や偏見が広がることで生まれる弊害も防ぐことができます。

このシトラスリボンプロジェクトは、コロナ禍のなかに居ても居なくても、誰もが心から暮らしやすいと感じる社会をめざす取り組みです。

人権に関するご相談について

新型コロナウイルス感染症に関連しての不当な差別、いじめ等の様々な人権問題についての相談を受け付けています。

大阪市人権啓発・相談センター

なやみゼロ  
☎06-6532-7830  
FAX 06-6531-0666

大阪市西区立売堀4-10-18 大阪市阿波座センタービル1F  
相談時間：月～金/9:00～21:00 日・祝/9:00～17:30  
※土曜日、年末年始(12/29～1/3)は休業



編集後記  
今号では、「誰もが当たり前に暮らしやすい社会を作るために」様々な側面から記事を作成しました。町中で私たちが少し心配りをすれば、不自由でなくなる方がいる、見た目だけでは分からない障がいをお持ちの方や、性的マイノリティの方もいる。私たちはともすれば自分の「枠」とらわれてものを見て、考えてしまいがちです。しかし、私たちの住むまちにはいろいろな方が住んでいて、いろいろな状況で生活しています。みんながそのような状況を理解して、お互いを思いやれば、今世の中で起こっている「新型コロナウイルス感染症に伴う差別や偏見」に苦しむ方もいなくなるでしょう。今号がそんな「誰もが当たり前に暮らしやすい社会」へのきっかけになれば嬉しいです。

弓場さん  
マスクをして外出することや、オンラインでの授業・会議は今までしていたことではなく最初は戸惑っていたり違和感があったりしたのに、今ではほとんどの人がそれを当たり前に行っているのがすごいと思いました。その一方で今でも「マスクはしなくていいや」「私はかからないから大丈夫」など、みんなが辛い思いをしながらも守っていることを守らない人がいることが感染症終息への道を遠ざけている1つの原因ではないかと感じています。

三島さん  
これから、様々なものがオンラインへ移行していくように感じました。確かに、オンライン中心の生活を体験して移動することがなくなり、移動時間や交通費がかからなくなるというメリットを感じました。しかし、その場にいなくて感じる事が出来ない雰囲気や感情というのは必ずあると思います。今後、何をオンラインへ移行して、何を対面で行うのかということは議論していく必要があるように感じます。

## Q.4 新型コロナウイルス感染症の流行が収まり、 社会が落ち着いたとしたら、あなたがしたいと思うことはなんですか?

田邊さん  
国内外を旅行したいです! 特に、海外には2回生で旅行に行くために、1回生の2月にパスポートを取ったんです。でも、その1か月後に新型コロナウイルスが蔓延してしまい、初海外は未だお預けです。社会人になると、なかなか長期の休みは取れないと思うので、4回生までに気軽に海外に行けるようになることを願っています。

田畑さん  
国内外問わず、旅行がしたいです。今でも感染対策をしていけば国内旅行に行くことはできると思います。しかし、もしかかってしまった場合、家族やバイト先のメンバー、友達に迷惑をかけるリスクがある事を考えると、やはり私は行けません。このような心配をせず、気兼ねなく旅行を楽しめるようになればいいなと思います。

坪井さん  
気兼ねなくいろいろなところに出かけたり、友人に会ったりしたいです。この一年間は、行きたいところにも思うように行けず、会いたい人にも会えず、我慢の連続でした。我慢してきた分、たくさん出かけて思い出を作りたいです。

藤森さん  
マスクなしで外に出たいです。旅行やお出かけなどいろいろなところに行きたいです。特に、旅行は時間がたくさんある今くらいしかゆっくり行けないし、学園祭など今の間しか経験できない行事もたくさんあるし、成人式は既に延期が重なっているのかどうかも未だ不明な状況なので、コロナが早急に終わることを願っています。大学生活が終わる前に終わってほしいです。

坂本さん  
周りの人への配慮の重要性をとっても感じました。コロナの対策をすることは、自分のためだけではなく、周りの人のためでもあるという意識を持つ人が多いですが、一方でそうでない人もいるのだと知りました。医療従事者の方が日々命のリスクを負いながら働いてくださっている中、「自分は一人暮らしだから大丈夫」「外出している人もいるから私もいいだろう」という考えを持つ人がいることを知り、いくら感染を抑えるために努力していても、協力できない人がいると、感染拡大は止められないという事実で悲しさを感じました。

弓場さん  
自分の行きたかった場所に行ったり、友達と気兼ねなく遊びに行きたいです。このコロナ禍でイベントや好きなテーマパークに行けなくなり、友達とも遊べるはずが遊べないという思いをたくさんしたのでそれを埋められるくらい予定を立てたいと思います。

三島さん  
海外旅行です。感染拡大が始まって最初のうちは、動画サイトで海外の様子を見たり、自宅で海外の料理を作ってみたりするなどして、海外旅行をしたいという欲を満たしていました。しかし、最近では、それだけでは満足出来なくなりました。早く感染拡大が収まって、海外旅行に行きたいです。

坂本さん  
祖父に会いに行き、色々な場所へ連れて行ってあげたいです。コロナが流行する少し前に祖母が亡くなり、祖父はきっととても寂しい思いをしていると思います。祖父はとて優しく、私たちにプレゼントを買ったり、おこづかいをあげるために、自分たちの買いたいものも我慢してくれていました。祖父がいつまで元気でいてくれるかわからないので、私は、バイトで貯めたお金で早くその恩返しをしたいです。

突然変化してしまった生活様式を受け入れ、上手に対応しておられるみなさんのお話をお聞きしていると、コロナ後には、今までよりももっと便利で安全な暮らしを満喫されるのだらうと頼もしさを感じました。どんなに大変な時でも、何か良かったことを見つけ、前向きに生きていきたいですね。



料金受取人払郵便  
大阪西局承  
1248  
差出有効期間  
令和4年2月  
28日まで  
(切手不要)  
大阪市西区立売堀4-10-18  
阿波座センタービル1階  
大阪市人権啓発・相談センター 行

キトリ

